オンライン授業をやってみて

【いい点】

学生がリラックスして授業を受けられる。

全員の顔が一度に見られる。

学校に（危なくて）来たくない人がオンラインだと参加した。

練習なしの本番だと緊張感があって先生は学生の本当のレベルや得意不得意が把握できた。

テストに対する緊張感がでて、勉強・復習するようになった。

私語や母国語の会話が減り、日本語が増えた。

コーラスが揃わなくてもいいから、自分のペースで自由に言える。

一人ずつ当てるから、発音が直しやすい。

プリントに直接書き込めるから、見失うことなく一緒に進んでいる感じを共有できる。

フィードバックがしやすい。

授業中ケータイ使わないで授業に集中していた。

ホワイトボード使った説明が楽。

ホワイトボードの前に書いたものがそのまま残っているので、戻れる。

宿題がデータになって、日本語タイピングの練習になった。

宿題がデータになって、非漢字圏の人も積極的に漢字を使っていた。

言葉の説明を写真や画像ですぐに共有できるのが楽。

欠席者にとってはYoutubeがありがたい。

復習としてのYoutube利用あり。

帰国してもクラスに参加できる。

教室で話さない人同士がコミュニケーションできた。

精神上、楽でのびのびできて、学生も安心した。⇒わたべ

【悪い点】

（Ｎ１Ｎ２）テストの意味が薄れた。単語リストが手元にあるから。

ケータイだと高温になって途中で落ちる。

ＰＣでの授業に不慣れで、時間ロスなど支障あり。先生たちの経験値が低くて大変。

コーラスがばらばらなので、分かってない部分、上手く言えてない部分が把握しにくい

ネット環境が悪い。マイクや回線の問題で、発言が聞き取りづらい。

子供の声、店や電車での後ろの声がうるさかった。

静かな環境が確保できない人にはオンラインはつらい。

宿題の提出率が悪くなった。

ファイルでの宿題の添削が、めんどくさい。

ペア練習がないから、発話回数が減って不満。

初級はジェスチャーとかが使えないから伝えづらい。

顔出しやYoutubeを拒否。⇒事前に説明、了解をとっておくべき。

欠席連絡がなくなった。

授業中、食事してる人がいた。

50分になると、勝手に休み時間を始める。

教案が下にあることで目線が下がる。

【改善点・問題点】

先生の研修が必要。個々の技術的な差が大きい。

ルールの徹底（途中退室や食事の禁止。ニックネームで登録し表示。顔出し必須etc.）。

テストの実施方法。

⇒画面共有で問題をうつし、学生はノートに答えだけ書く。

学生の得意不得意や勉強しているかどうかが把握しづらい。

【新しいクラスに向けて】

添削制度やオンリーワンの教材を作る。

Ｎ５などは言語別クラスを作る。

上級は文法クラスならできる？

〇わいわいクラス

30分前ぐらいからオープンしていて自由に会話できる場を作る。先生がきっかけ作り。

写真やプロフィールなど前もってページに載せる。（できる範囲で）

オンライン懇親会（授業＋交流会）

〇しいんとクラス

基本イーラーニングで月１とかzoomと録画。

V Tuberでの動画配信